

# 総合交通メールマガジン 第18号

平成21年12月25日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

## 目次



### Topics

- ・「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の取組について  
(千葉県いすみ市、東京都墨田区、国土交通省 政策統括官付 参事官室)



### 地域の取組紹介

- ・熊本県菊池市



### Information

- ・第30回総合的交通基盤整備連絡会議の開催について
- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



### 編集後記

## Topics



### 「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の取組について

(千葉県いすみ市、東京都墨田区、国土交通省 政策統括官付 参事官室)

参事官室では、人の移動に着目し、出発地から目的地に至るまでの総合的な交通に関する施策を推進しています。今年度から「モビリティサポートの推進」施策を創設し、歩行者が必要に応じ移動に関する情報を入手し、快適・安心かつ安全に移動して積極的に活動できる環境を構築することを目的に、ユビキタス技術等を活用したモビリティサポートサービスの普及展開を推進しています。

それに伴い、当室では、モビリティサポートサービスの普及展開を目指した取組に対して支援する「モビリティサポートモデル事業」を実施しています。今年度はモデル事業の実施箇所を7箇所選定しており、本号では千葉県いすみ市、東京都墨田区の取組を紹介致します。

## ◇ 千葉県いすみ市の取組

いすみ市では、「高齢者が一人でも安心して外出できる環境づくり」、「二地域居住者にも暮らしやすい（わかりやすい）環境づくり」、「観光客にも行動しやすい環境づくり」を目的として、「携帯電話を活用した“まちの情報”や“目的地までのルート”を案内する移動支援サービス」を提供するモバイルシステム「いすみおでかけナビ」を構築し、その効果を検証するため、歩行者の移動支援サービスの提供を実施しました。

サービス提供の対象エリアは、JR外房線大原駅を中心とした大原中央商店街や大原漁港を含む半径1km内外とし、エリア内のバス停や公共施設等に設置されたQRコードから情報サイト「いすみおでかけナビ」へアクセスして頂き、イベント情報、おすすめスポット（遊ぶ・見る・ショッピング・食べる）、公共施設情報、交通機関情報等の情報を提供しました。また、歩きやすい道順の参考に、現在地から目的地までの最短ルート以外に、歩道の段差の有無などを確認できるよう工夫しました。

モデル事業の成果を踏まえ、高齢者のモビリティにも重点を置いた取組として、「人にやさしいまちづくり」を実現することが期待されています。



いすみ市観光センターでの体験風景



携帯電話の画面例（歩道の属性表示等）

【千葉県いすみ市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0912isumi-chiba.pdf>

国土交通省「モビリティサポートの推進」サイトホームページ：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000023.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html)

いすみ市モビリティサポート事業推進協議会ホームページ：

[http://www.city.isumi.lg.jp/pcp\\_portal/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=2582](http://www.city.isumi.lg.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=2582)

千葉県いすみ市ホームページ：<http://www.city.isumi.lg.jp/>

◇ 東京都墨田区取組

墨田区では、区内にある両国国技館、江戸東京博物館をはじめとした魅力的な観光スポット・資源を活かし、観光客の区内における回遊性・利便性を高めることを目的として、墨田区の産業・観光・地域振興を目指す協議会「すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム」が移動支援サービスの提供に取り組んでいます。

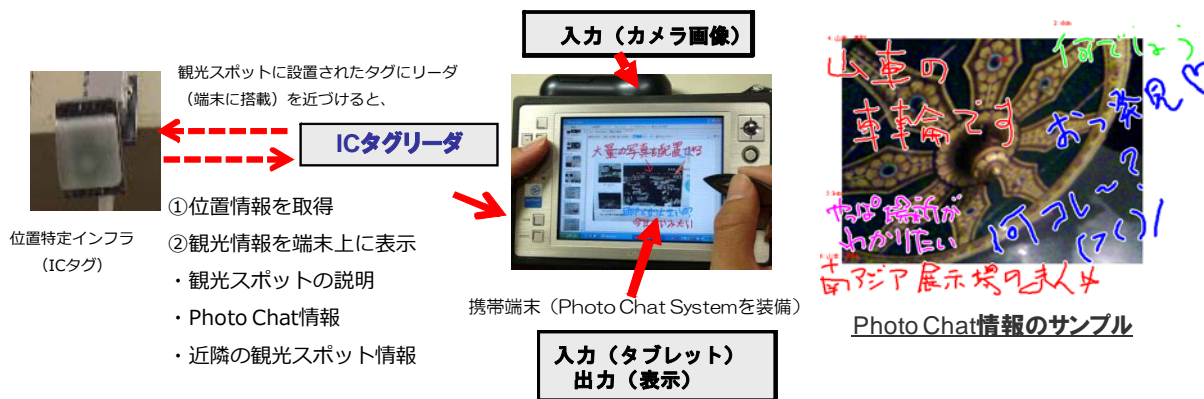
サービスの提供に際しては、次世代モビリティ（超軽量小型電気自動車：ULV, Ultra Lightweight Vehicle 等の電気自動車・電気バス・電気ボート等を指す）に、Photo Chat System（写真撮影とメモ書きという日常的な直感的手段を観光と融合させるシステム）が装備され



観光情報の取得風景

た携帯端末を設置し、電気自動車（ULV）の運行時にはナビゲーションツール、観光時にはデジタルカメラやICタグと連動することによって観光ガイドとして活用する観光案内システムを構築しました。来年1月にはサービスの提供が予定されています。

Photo Chat System や電気自動車（ULV）などの次世代モビリティと歩行者の移動支援システムとの連動、融合した取組が継続的に実施されることが期待されています。



観光情報取得の仕組みと Photo Chat System

【東京都墨田区取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0912sumida-tokyo.pdf>

国土交通省「モビリティサポートの推進」サイトホームページ：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000023.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html)

すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアムホームページ：

<http://www.wic-waseda.com/ecomu/works/55/74.html>

## 地域の取組紹介

### 熊本県菊池市

熊本県菊池市は、熊本県の北部に位置し、中山間・山間地域を有する人口約5万人余りの自治体です。菊池市では、市内の交通体系に関する課題を解決するため、交通事業者等との度重なる調整の結果、市街地での巡回バス「べんりカー」、市街地と中山間・山間地域を結ぶ予約制の乗合タクシー「あいのりタクシー」の運行を実現させ、住民の利便性の向上、市の財政負担の削減に大きく寄与しています。

「べんりカー」・「あいのりタクシー」導入のきっかけや「あいのりタクシー」の概要・効果等について、菊池市から、「菊池市における新たな交通体系『べんりカー』・『あいのりタクシー』の導入」と題して紹介頂きます。



「あいのりタクシー」利用のひとこま

【熊本県菊池市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.ml.it.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0912kikuchi-kumamoto.pdf>

熊本県菊池市ホームページ：<http://www.city.kikuchi.kumamoto.jp/>

## Information

### 第30回総合的交通基盤整備連絡会議の開催について

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

参事官室では、総合的な交通施策に関し、都道府県及び政令指定都市との連絡調整を図り、各地方公共団体における総合交通関連の検討等を支援することを目的として、平成22年1月27日(水)に標記会議を開催致します。(会議の実施要領は、以下のURLをご参照下さい。)

平成20年4月改正

### あいのりタクシー

菊池市予約制乗合タクシー

月・水・金 (水源地域線)	運行日	火・木・土 (龍門地域線)
水源地域(一部) 水源地域(一部) 市街地	利用できる地区と片道1人あたりの利用料金	龍門・迫間(一部)地域 市街地
200円		
300円		
400円		
500円		
600円		
800円 1,200円		
(0968) 26-5011	予約の電話番号	(0968) 26-5022

便	出発時刻	予約時間(下記の予約時間以外は受付できません。)
①	8:00 ~ 8:30	前日18:00~ 左記、前日予約のみ
②	10:00 ~ 10:30	前日19:00まで 前日7:00~前日8:00まで
③	12:00 ~ 12:30	前日19:00まで 前日7:00~前日10:00まで

※ 異なる地区の市街地内であれば、どこでも乗りこむことができます。

便	出発時刻	予約時間(下記の予約時間以外は受付できません。)
①	10:30~10:40	前日18:00~ 前日7:00~前日9:00まで
②	12:30~12:40	前日19:00まで 前日7:00~前日11:30まで
③	15:00~15:10	前日19:00まで ※ただし、市街地行き12:00の便の乗降には予約が必要です。

※ 異なる地区にある市の指定する65分間の乗り場であれば、乗りこむことができます。

「あいのりタクシー」の利用案内



標記会議におきましては、都道府県及び政令指定都市の交通関係の担当者のほか、希望される区市町村の担当者にも幅広くご出席頂きたいと考えています。

標記会議へのご出席を希望される区市町村の担当者の方は、必要事項（区市町村名、部署・役職名、ご出席者名、電話番号、E-mail）をご記入の上、平成22年1月13日（水）までに、本メールマガジンの最終ページに記載されているメールマガジン担当（小林、近藤）宛てに、E-mailにてお送り下さい。追って、当方から確認のE-mailをお送り致します。

※会場の都合上、出席の申込は先着順とさせていただきます。出席希望者が多数の場合には、勝手ながら出席の申込をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

【第30回総合的交通基盤整備連絡会議の実施要領についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0912renraku-kaigi.pdf>

### **総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！**

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

### **地域の取組募集！！**

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて36件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



今回の「総合交通メールマガジン」では、地域の取組紹介として、熊本県菊池市から、住民のニーズに合った地域のモビリティである、市街地での巡回バス「べんりカー」、市街地と中山間・山間地域を結ぶ予約制の乗合タクシー「あいのリタクシー」について紹介頂きました。業務等のご参考にして頂ければ幸いです。

また、当室が実施している「モビリティサポートモデル事業」の実施箇所の取組として、千葉県いすみ市、東京都墨田区の取組について紹介致しました。いすみ市における歩行者の移動支援サービス提供は既に終了しましたが、墨田区では、来年1月にモニターの方を対象としたサービス提供を行います。詳細については以下のホームページをご覧ください。

【すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアムホームページ】

<http://www.wic-waseda.com/ecom/works/55/74.html>

さて今回は、参事官室のH. K. がフランスを訪問してきましたので、その折に気づいたことについて掲載させて頂きたいと思います。

- ・このたび、フランスを訪問する機会があり、その折に気づいたことについて掲載させて頂きたいと思います。
- ・まずは、グルノーブルですが、グルノーブルはフランスの南東部に位置し、アルプス山脈の麓、1968年に冬季オリンピックが開催された都市です。四方を山々に囲まれた盆地で、人口密度がパリ、リヨンに次ぐ3番目の都市であり、地方中核都市（市の人口約15万人、都市圏では約40万人）ではありますが、非常にコンパクトな印象を受けました。今年からサッカーの松井大輔選手が所属しているチームがあり、雪山が遠景となり町並みが非常にきれいな都市です。
- ・グルノーブルでは、PDU（都市圏交通計画）がしっかりと計画され、PDUに基づいた交通整備を行っています。LRT（トラム）を軸に、バス網整備、福祉交通運営、自転車道・利用環境整備、パークアンドライド施策、都市を環状に囲む道路と幹線鉄道の整備といった、経済活性化と環境負荷削減を両立させる総合的な交通計画が作られ、実行されてきています。
- ・写真1のように、グルノーブルでは、中心市街地から自動車交通を排除し、人々がさらに移動しやすい環境を整えるために、LRTの整備を積極的に行ってきました。LRTの建設・運営は、交通税（交通計画区域の9人以上を雇用する事業者の従業員の給料の1.8%を事業者から徴収）の制度から安定的に供給されています。今では、町の生活の中にLRTが溶

けこんでいるようでした。また、移動環境の整備の意味で、こうした交通機関のネットワークを整備すると同時に、バリアフリー対策も積極的に行っています。写真2でも分かるように、駅自体がLRTやバスの乗降口と同じ高さで均等で、商店街の入口なども同レベルで整備されています。駅の乗り入れやモード間の移動についても全てスロープが整備されており、徹底したバリアフリー対策が施されていました。バスなどは、車いす専用のスペースと出入口に自動のスロープ機器が全車に備え付けられています。

- ・自動車交通と公共交通の接点として、パークアンドライド施策をとっており、LRTのターミナルの脇にパーキングを設置しています。LRTの定期券を持っている人は駐車料金を無料、その他は3ユーロといった料金を課しています。また、中心市街地にも駐車場はありませんが、料金は割高でスペース数も限ったものとしています。
- ・また、グルノーブルには北東部に、大きな総合大学が存在し、圏域人口40万人のうち、約6万人が学生です。一方、県、市は企業誘致に非常に積極的であり、地域北西部にアクティビティゾーンといった産業クラスターを形成しています。優秀な学生の積極的な獲得といった企業立地に魅力的な都市づくりといった意味も含め、大学ー市街地ー企業エリアをLRTで結んだ整備をしてきています。学生の通学もほとんど、LRTか自転車で行なわれているようで、大学のキャンパス内をLRTが走行しています。
- ・こうした計画は、SMT Cという広域地域交通共同体が住民とのコミュニケーションのもと策定しています。SMT Cは、公共交通の整備推進に関して非常に強力な組織で、交通税等の財源を有し、交通基本法に基づきPDUを策定する主体であるとともに、LRT、バス等の公共交通施設の保有主体ともなっています。こうした交通施設をSEM I T A G (グルノーブル公共交通混合経済組織)に運営委託することで、公共交通のマネジメントを行っています。SMT Cの執行部は市の議員から構成され、非常に政治的な組織となっている反面、地域住民のニーズや将来の都市のあり方を考える上で適した組織となっています。そのSMT Cの事務所が、なぜかグルノーブルのサッカースタジアムの中にあったのは、びっくりでした。(H. K.)

【写真はこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0912hk-picture.pdf>

**【問い合わせ先】**

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林、近藤

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113、53-117)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

